

# 安全上のご注意

ご注意の詳細については、  
P.7 ~ をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




本書をお読みになったら後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。本書にはあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。




内容をよく理解してから本文をお読みください。

お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

## 表示の意味

 <b>危険</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 <small>じゅうしょう</small> を負う危険が、差しこまれて発生する可能性があること ” を示します。
 <b>警告</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 <small>じゅうしょう</small> を負う可能性があること ” を示します。
 <b>注意</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が傷害 <small>しょうがい</small> * 1を負う可能性、または物的損害* 2のみが発生する可能性があること ” を示します。
* 1 : 傷害 <small>しょうがい</small> とは、治療 <small>ちりょう</small> に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。	
* 2 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。	

## 図記号の意味

	この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。具体的な警告内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

めんせきじこう

## 免責事項について

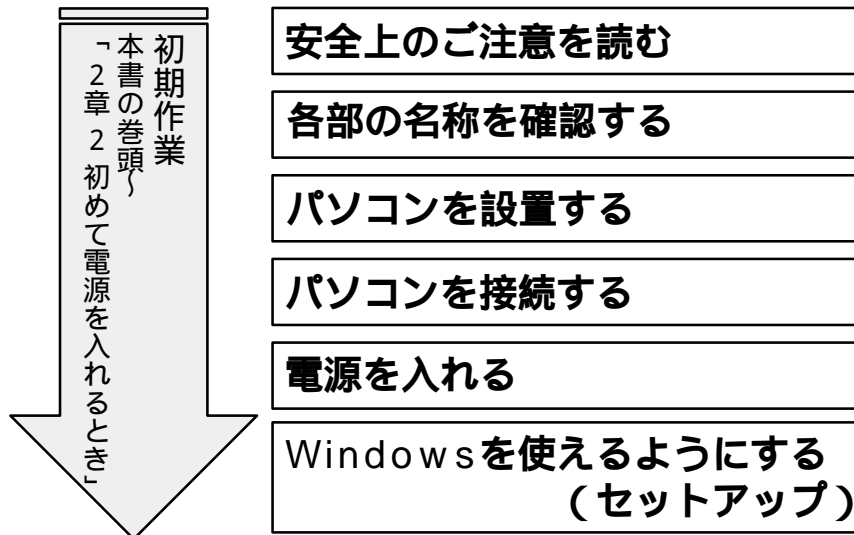
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的ふずいてきな損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。



# マニュアルの使い方

## ① 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書）

👉 目次は次ページ

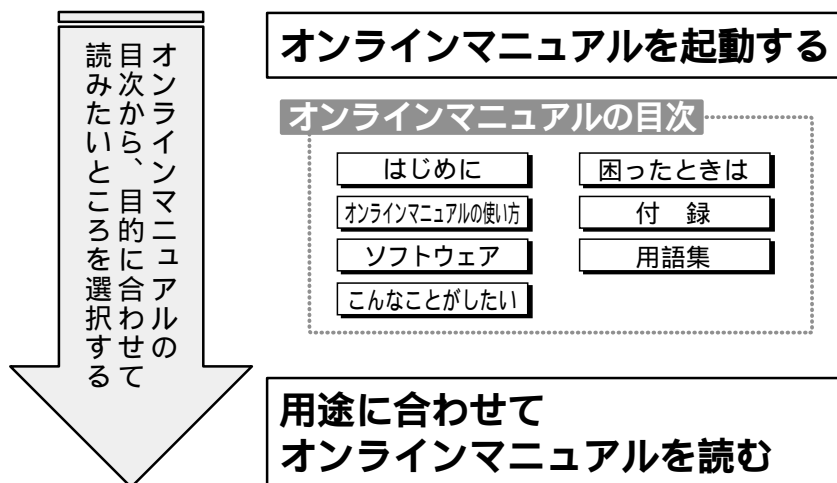


Windows のセットアップが終了後、Windows の使い方については、各システムに付属の『ファーストステップガイド』、または『Windows のヘルプ』をご覧ください。

## ② 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル

オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。

本書「2章4 オンラインマニュアルの起動」に従ってオンラインマニュアルを起動してください。オンラインマニュアルの目次が表示されます。



本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。

また、同梱されているほかの説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。



# 目次

マニュアルの使い方 .....	1
1 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書 (本書) .....	1
2 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル .....	1
目次 .....	2
安全上のご注意 .....	7
ご使用上のお願い .....	12
はじめに .....	16
本書の読み方 .....	18
日常の取り扱い .....	20

## **1** 章 電源を入れる前に .....

27

<b>1</b> 各部の名称 .....	28
1 本体正面および右側面 .....	28
2 本体背面 .....	29
3 マウス .....	30
4 キーボード .....	32
5 サウンド .....	38
6 その他 .....	40
<b>2</b> 環境設定 .....	41
<b>3</b> 接続について .....	43
1 接続完成図 .....	43
2 接続の順番 .....	44
3 マウスの接続 .....	44
4 キーボードの接続 .....	45
5 電源への接続 .....	46

<b>2章</b>	<b>電源を入れて切るまで</b> .....	49
1	電源を入れる .....	50
2	初めて電源を入れるとき .....	52
	1 Windows 98のセットアップ .....	53
	2 Windows 95のセットアップ .....	58
	3 Windows 2000のセットアップ .....	64
	4 Windows NTのセットアップ .....	72
	5 ユーザ登録をする .....	80
3	電源を切る .....	81
	1 Windows 98の電源の切り方 .....	82
	2 Windows 95の電源の切り方 .....	84
	3 Windows 2000の電源の切り方 .....	86
	4 Windows NTの電源の切り方 .....	89
4	オンラインマニュアルの起動 .....	91
<b>3章</b>	<b>ハードウェアについて</b> .....	93
1	周辺機器の取り付けについて .....	94
2	セレクトابل機器の差し替え .....	95
3	CD-ROM 装置 .....	101
	1 CD .....	101
	2 CDのセットと取り出し .....	101
4	フロッピーディスク装置 .....	105
	1 フロッピーディスク .....	105
	2 フロッピーディスクのセットと取り出し .....	106
	3 フロッピーディスクのフォーマット .....	107
	4 FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置 (別売り).....	108
	5 USB コネクタ用フロッピーディスク装置 (別売り).....	109
	6 セレクトابلベイ用フロッピーディスク装置 .....	109
5	ハードディスク装置 .....	110

<b>6</b>	PC カード .....	111
<b>7</b>	増設メモリ .....	116
<b>8</b>	LAN の接続 .....	120
	1 適正なケーブルの確認 .....	120
	2 LAN ケーブルの接続 .....	120
	3 LAN コネクタに関するインジケータ .....	121
	4 テクニカル情報 .....	122
	5 Windows 98 / 95 のネットワーク設定について .....	123
	6 Windows 2000 のネットワーク設定について .....	126
	7 Windows NT のネットワーク設定について .....	127
<b>9</b>	USB 機器の接続 .....	129
<b>10</b>	マイク（別売り）の接続 .....	130
<b>11</b>	ヘッドホン（別売り）の接続 .....	131
<b>4章</b>	<b>システム構成とパスワードセキュリティ ...</b>	<b>133</b>
<b>1</b>	システム構成の設定 .....	134
	1 セットアッププログラムを起動する方法 .....	134
	2 セットアッププログラムを終了する方法 .....	135
	3 セットアッププログラムの画面 .....	136
	4 設定項目 .....	138
<b>2</b>	パスワードの設定 .....	144
	1 ユーザパスワード .....	145
	2 スーパーバイザパスワード .....	148
	3 パスワードの入力 .....	152

## 5 章 便利な機能 ..... 153

- 1** 消費電力を節約する ..... 154
  - 1 省電力機能について ..... 154
  - 2 省電力モードについて ..... 155
  - 3 Toshiba Power Extensions ( Windows 98 ) ..... 156
  - 4 Toshiba Power Extensions ( Windows 95 ) ..... 157
  - 5 Toshiba Power Extension ( Windows 2000 ) ..... 158
  - 6 東芝パワーマネジメントシステム ( Windows NT ) ..... 159
- 2** Toshiba Hardware Setup/HW セットアップ ..... 161
  - 1 Windows 98 / 95 の場合 ..... 161
  - 2 Windows 2000 / NT の場合 ..... 161

## 6 章 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方 .. 163

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは ..... 164
  - 1 カスタム・リカバリ CD とは ( Windows 98 / 95 モデル ) ..... 164
  - 2 リカバリ CD とは ( Windows 2000 / NT モデル ) ..... 164
- 2** 標準システムを復元する ..... 165
  - 1 準備 ..... 165
  - 2 操作手順 ..... 165
- 3** 最小構成でシステムを復元する ( Windows 98 / 95 モデル ) ... 168
  - 1 準備 ..... 168
  - 2 操作手順 ..... 168
- 4** アプリケーションを再インストールする  
( Windows 98 / 95 モデル ) ..... 170
  - 1 操作手順 ..... 170

1  
章

2  
章

3  
章

4  
章

5  
章

6  
章

7  
章

付  
録

<b>7章 困ったときは</b> .....	171
<b>1 困ったときは</b> .....	172
<b>付録</b> .....	203
<b>1 製品仕様</b> .....	204
1 外形寸法図 .....	204
2 サポートしているビデオモード .....	205
3 メモリマップ .....	206
4 I/Oポートマップ .....	207
5 DMA 使用リソース .....	208
6 IRQ 使用リソース .....	208
<b>2 各インタフェースの仕様</b> .....	209
1 LAN インタフェース .....	209
2 USB インタフェース .....	209
<b>3 その他の設定</b> .....	210
1 Windows 98 / 95 モデル .....	210
2 Windows NT モデル .....	212
<b>さくいん</b> .....	213



# 安全上のご注意



## 警告

### ● 本体の取り扱いについて

もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、過熱、発煙したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

コップ、花瓶など、液体の入った容器を上においたり、近くに置かないこと

液体がこぼれて内部に入ると、感電のおそれがあります。また、物が落ちたときにケガをするおそれがあります。もし、液体が内部に入ったときは、電源を切り、プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



禁止

分解・改造・修理しないこと

火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。

修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。



分解禁止

ふる場など、水がかかったり、湿気の多いところに置かないこと

感電のおそれがあります。



禁止

もし、落としたり、強い衝撃しょうげきを与えたときは、すぐに

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

キーボードを長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息すること

キーボードを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。

万一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。



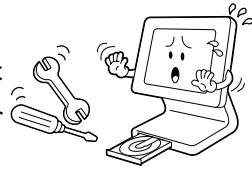
強制



**警告** -つづき-

CD-ROM 装置部分はサービスマン以外の方は絶対に分解しないこと

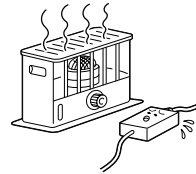
内部にはレーザー光線があり、万一、分解または不適切な使用、修理などがありますと、人体への悪影響（目の傷みなど）をおよぼすおそれがあります。



強制

●電源コード、ACアダプタの取り扱いについて

通電中のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと  
火災、故障のおそれがあります。



禁止

電源コードを取り扱うときは次の点を守ること

- ・傷つけない ・強く曲げない ・引っ張らない
- ・ドアなどにはさまない ・加熱しない
- ・熱器具を近付けない ・コードをつぎ足さない
- ・ねじらない ・机、家具などを乗せてつづさない
- ・余ったコードを束ねない
- ・クギやステーブルで固定しない
- ・加工しない ・物に乗せない

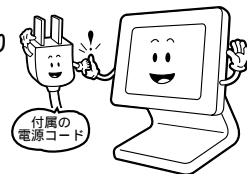


禁止

守らないと、火災、感電、やけどのおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。

電源コードは本体付属品を使用すること

それ以外の電源コードを使用すると、火災のおそれがあります。



強制

電源プラグやの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること

そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。長時間使用しないときはコンセントから抜き、ホコリが付着しないように保管してください。



強制

電源プラグやACアダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

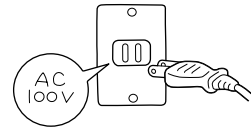
確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。



強制

## ⚠ 警告 - つづき -

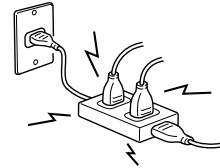
電源プラグはAC100Vコンセントに差し込むこと  
それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。



強制

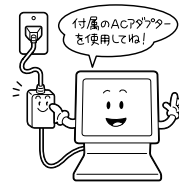
コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと

タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電のおそれがあります。



禁止

必ず、本製品付属のACアダプタを使用すること  
本製品付属以外のACアダプタを使用すると、電圧や  
(+)(-)の極性が異なっていることがあるため、火災、  
破裂、発煙のおそれがあります。



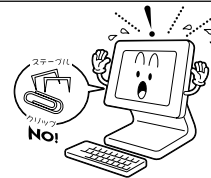
強制

## ⚠ 注意

### ● 本体の取り扱いについて

ステーブル、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。



禁止

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶  
にふれないこと

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服など  
についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。



接触禁止

雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用し  
ないこと

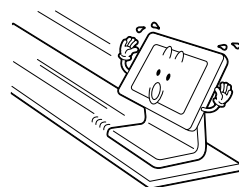
雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な  
場所に置かないこと

落ちたり、たおれたりしてケガするおそれがあります。



禁止

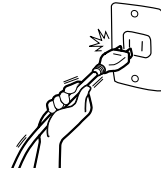
⚠ 注意 -つづき-

アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないこと  
データ消失のおそれがあります。



禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないこと  
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電のおそれがあります。



禁止

ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないこと  
感電のおそれがあります。



禁止

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意すること  
聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



注意

オーディオ機器などに接続するときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと  
電源を入れたまま接続すると、感電やケガの原因となることがあります。



注意

本体の電源を入れる前には、接続されているスピーカーやオーディオ機器などの音量を最小にすること  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



注意

ひび割れ、変型、または接着剤などで補修したCDは使用しないこと  
CDは本体内で高速に回転しますので、飛び散ってケガをしたり故障の原因となることがあります。

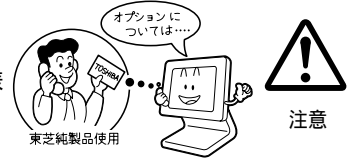


禁止

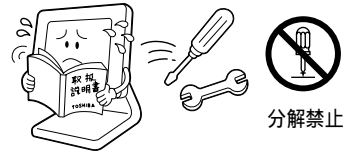
⚠ 注意 -つづき-

● 周辺機器・オプションの取り付けについて

東芝純正品以外の周辺機器を使用する場合は、本製品  
で  
使用可能かどうかを、取り扱い元に確認すること  
東芝純正品以外の周辺機器が原因で発生した損害（お客様  
へのケガ、財産への損害および本体の故障）については、  
当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

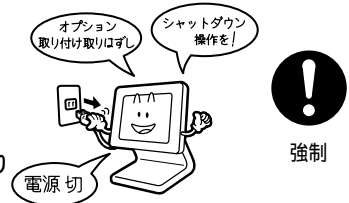


周辺機器を接続したり、取りはずしたりする場合は、  
取扱説明書に記述されてあるところ以外は絶対に開  
けないこと  
火災、感電、やけどのおそれがあります。



ホットインサージョン（本体の電源が入った状態  
での接続）が認められていない周辺機器を接続する場  
合には、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから  
作業をすること

電源を入れたまま接続すると、感電、故障のおそれがあり  
ます。

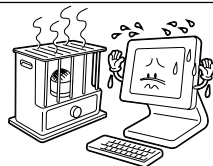




# ご使用上のお願い

## ● 本体の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、<sup>だんぼう</sup>暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



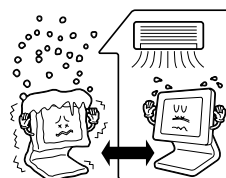
禁止

極端に低温になるところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



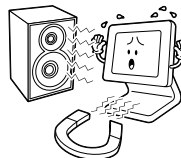
禁止

急激な温度変化を与えないでください。  
<sup>けつろ</sup>結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。  
結露が生じたときは、室内に置き自然乾燥させてから、電源を入れてご使用ください。



禁止

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



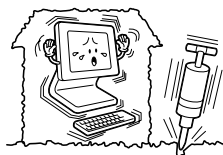
禁止

ほこりの多いところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買いあげの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



禁止

<sup>しんどう</sup>振動が強いところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

風通しのよい場所に置いてください。  
装置の通風向をふさいだり、装置の発する熱がこもりやすい場所に置いたりすると、内部の温度が上がり、火災、故障、誤動作の原因となります。



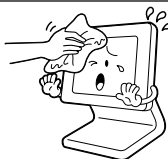
禁止

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。  
変質、変形、変色の原因となります。



禁止

ぬれた布で画面を拭かないでください。  
故障の原因となります。



禁止

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。  
破損、故障の原因となります。



禁止

本製品を長時間使用する場合は、健康のために、定期的に休みを取り、目や筋肉をリフレッシュさせてください。



強制

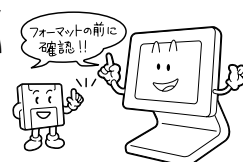
## ● フロッピーディスク、ハードディスク内のデータ保護について

フロッピーディスク装置、ハードディスク装置のインジケータが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンにふれたりしないでください。  
データが消失するおそれがあります。



禁止

フロッピーディスク、ハードディスクなどをフォーマットする場合は、その中に必要とする情報（ファイル）がないことを確認した後に行ってください。  
フォーマットをすると、保存されていた情報（ファイル）はすべて消えます。



強制

オプションやアプリケーションソフトを使用する前に、保存していないデータなどをフロッピーディスクやハードディスクに保存してください。  
保存しないとデータなどが消えるおそれがあります。



強制

ハードディスクに保存しているデータや、重要な文書などは、万一事故が起こったり、変化消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。  
次のような場合、ときに、本体内の文書などが、消失するおそれがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたときえいきょう
- ・ 故障、修理のとき
- ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- ・ 増設メモリカードの取り付け/取りはずしをしたとき

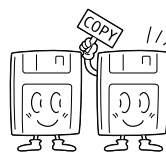


強制

記憶内容の変化/消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

## ● フロッピーディスクの使用環境、保管場所および取り扱いについて

フロッピーディスクは消耗品しょうもうひんですので、大切なフロッピーディスクは別のフロッピーディスクにコピーしておくことをおすすめします。



強制

シャッター部は開けないでください。  
磁性面（ディスク面）が傷ついたり、汚れると、使用できなくなります。



禁止

ラベルは正しい位置からはみ出したり、重ね貼りしないでください。  
フロッピーディスク装置の故障の原因となります。



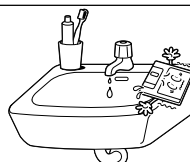
禁止

ラベルに名前（タイトル）を記入するときは、鉛筆を使用しないでください。  
芯のカスが入ると故障の原因となります。油性のフェルトペンで  
ご記入ください。  
また、ラベルに名前（タイトル）を記入してから、フロッピー  
ディスクに貼ることをおすすめします。



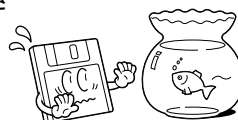
禁止

水がかかったり、湿気の多いところに置かないでください。  
ぬれると使用できなくなったり、フロッピーディスク装置の故障  
の原因となります。



禁止

近くにコップなど、液体の入った容器を置かないでください。  
液体がこぼれてぬれると、使用できなくなったり、フロッピー  
ディスク装置の故障の原因となります。



禁止

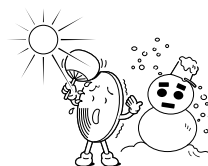
## ● CD の使用環境、保管場所および取り扱いについて

CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。  
CD-ROM 装置が故障したり、CD を読み込むことができなくな  
ります。



禁止

CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒  
かったりする場所に置かないでください。また、CD の上  
に重い物を置かないでください。  
CD が変形し、CD-ROM 装置の故障の原因となります。



禁止

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。

表面に指紋を付けてしまうと、正確にデータが読みとれなくなることがあります。



強制

CDのお手入れをするときは、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。

変質、変形、データの消失の原因となります。



禁止

## ● ACアダプタについて

通電中、ACアダプタの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。

持ち運ぶときは、電源コードを抜き温度が下がってから行なってください。



注意

温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。

あとがつくことがあります。



禁止

## 用途制限について

本製品は人の生命に直接関わる装置等（\*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

\*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。

（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（\*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（\*3）が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

\*2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。

（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）

（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

\*3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

## 国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行っておりません。

また、本体付属の電源コードは、国内向け AC100V の仕様なので海外では使用できません。





# はじめに

ダイナトップ

このたびは、DynaTop をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
DynaTop は高性能・コンパクトを特長とするデスクトップ型コンピュータです。  
本書は DynaTop の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。  
また、ご購入のモデルにより、システム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

また本製品には、このマニュアルの他に、DynaTop オンラインマニュアル（以降、本書中ではオンラインマニュアルと記述します）が用意されています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使い方などは、オンラインマニュアルをご覧ください。

⇒ オンラインマニュアル ⇒ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」

また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

⇒ リリース情報 ⇒ 「日常の取り扱いリリース情報について」

## ● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定に関しては「5 章 便利な機能 1 消費電力を節約する」をご覧ください。

## ● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

## ● 瞬時電圧低下について

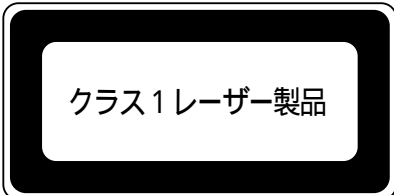
この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## ● 電波障害自主規制について

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ● レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。



## ● Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ PS/2、XGA は、IBM Corporation の商標または登録商標です。
- ・ SoundBlaster は米国 Creative Technology 社の商標です。
- ・ Intel、Celeron、Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ CardWizard は、米国 SystemSoft Corporation の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## ● お願い

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。

パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。


本書の内容について万々不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。


お使いになる前に本体同梱のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 本書の読み方

## 記号の意味

 **警告** ・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

 **注意** ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。



Windows 98 の場合の機能名称などを示しています。




Windows 95 の場合の機能名称などを示しています。



Windows 2000 の場合の機能名称などを示しています。



Windows NT の場合の機能名称などを示しています。

 このマニュアルや他のマニュアルの参照先を示しています。

「このマニュアルの参照先」

『他のマニュアルへの参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

(注) 補足説明をしています。

## 画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。






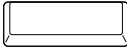
【例】

Total = x x x x KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## ● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを で囲んで書いています。


-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  (スペースキー) を押してください。

## ● 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。




【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  +  キーを押す

この場合は、 キーを押したまま  キーと  キーを押します。

## ● 用語について

本書では、次のように定義します。

- システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。
- アプリケーションまたはアプリケーションソフト  
..... アプリケーションソフトウェアを示します。
- Windows 98 ..... Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION  
operating system 日本語版を示します。
- Windows 95 ..... Microsoft® Windows®95 operating system 日本語版を示します。
- Windows 2000 ..... Microsoft® Windows®2000 Professional  
operating system 日本語版を示します。
- Windows NT ..... Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0  
operating system 日本語版を示します。
- Windows ..... Windows 98、Windows 95、Windows 2000、  
Windows NT を示します。
- MS-IME ..... Microsoft® IME2000、Microsoft® IME98、  
Microsoft® IME97 を示します。
- 2520 モデル ..... DynaTop2520 シリーズを示します。
- 2010 モデル ..... DynaTop2010 シリーズを示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》をご覧ください。

☞ オンラインマニュアル ☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」



# 日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

## ● パソコン本体

- ⚠ 注意**
- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACアダプタから抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
  - ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
  - ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 10 ~ 35 °C、湿度 30 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

## ● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。

汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。

記録した内容が消える恐れがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。

本やノートなど重いものを上に置かないでください。

使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5 ~ 35	4 ~ 53

ラベルは正しい位置に貼ってください。

貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。

ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。

他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

## コンパクトディスク (CD)

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。

CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CDの表面に文字などを書かないでください。

CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

## 電源コード

電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火災、感電のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。



お願い

- ・コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
- ・コードの上に重いものをのせないでください。
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
- ・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。

電源コードのプラグを長期間に渡って電源コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的にはこりを拭き取ってください。

## ● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときやコーヒーなど飲み物をこぼしたときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

次のようなことを行くと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。

- ・キャビネットにシンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
- ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
- ・化学ぞうきんで拭く

## ● 液晶ディスプレイ

強い磁界を発生する場所でのご使用はさけてください（高圧線、テレビ、ラジオ、モータ、電子レンジなどの近く）

画面がゆれたり、傾いたりします。

省電力機能を使用したり、解除したときは液晶ディスプレイの画面の表示が乱れることがあります。

次のようなことを行なうと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。

- ・キャビネットにシンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
- ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
- ・化学ぞうきんで拭く

## ● 画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

## ● サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

## ● 表示について

本製品は、TFT 方式のカラー液晶ディスプレイ（LCD）を採用しています。

カラー表示

カラー対応のアプリケーションソフトウェアをご使用の場合にカラー表示されます。それ以外のものは、モノクロ表示になります。

☞ 詳細について ⇨ 『それぞれのアプリケーションソフトに付属の説明書』

## ● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られています。一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

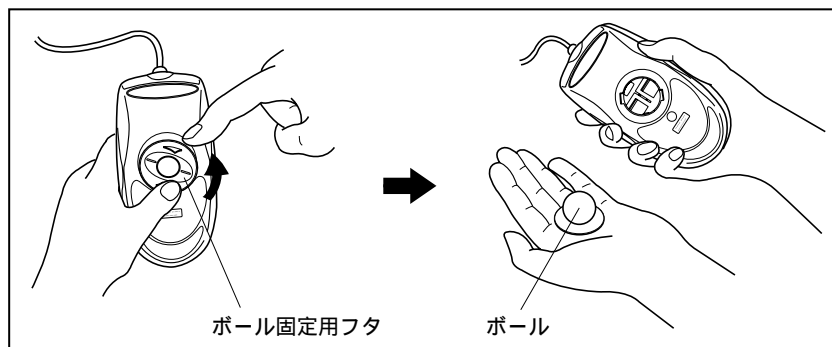
## ● マウス

マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

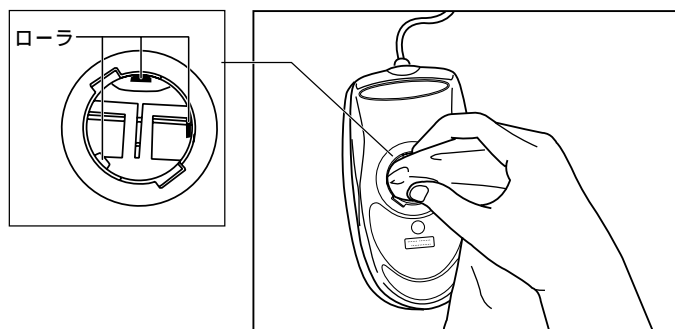
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

パソコン本体の電源を切ってください。

マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。

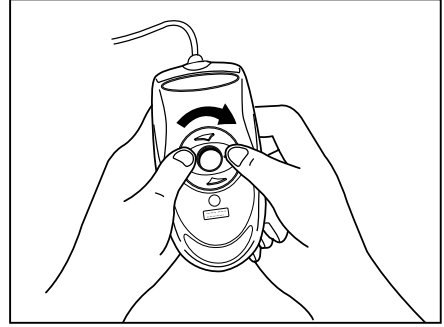


ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。



ボール固定用のフタを、矢印方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



お願い

・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

次のようなことを行うと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。

- ・キャビネットにシンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
- ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
- ・化学ぞうきんで拭く

## ● フロッピーディスク装置

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にフロッピーディスク装置をクリーニングしてください。

## ● CD-ROM 装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。


市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にCD-ROM装置をクリーニングしてください。

## ● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

パソコンの取っ手をしっかりとつかんで持ち運んでください。

電源は必ず切ってください。

電源を切った後も、HDD  LEDが点灯中は動かさないでください。

急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。

落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。

故障の原因になります。

## ● システムの復元について

本製品では、あらかじめハードディスクにソフトウェア（Windows やアプリケーション）がインストールされています。

不慮の事故などにより、これらに障害が発生したときには、同梱されている「カスタム・リカバリ CD」または「リカバリ CD」を使用してシステムの復元を行うことができます。

これにより、システムはご購入時の状態に戻ります。

システムの復元をすると、ご購入後にハードディスクに保存したデータはすべて削除されます。

☞ 詳細について ☞ 「6 章 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方」

## ● リリース情報について

本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。  
ご覧になるには [ スタート ] メニュー - [ はじめに ] - [ リリース情報 ] を選択します。

## ● 連続運転について

長時間の（24 時間を超えるような）連続運転をしないでください。

パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。

長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

## ● 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。

AC アダプタは 100V で使用可能です。

## ● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

時計用バッテリー（交換は有償です）

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店または保守サービスにご相談ください。

## ● 廃棄について

本装置の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。



# 1

## 電源を入れる前に

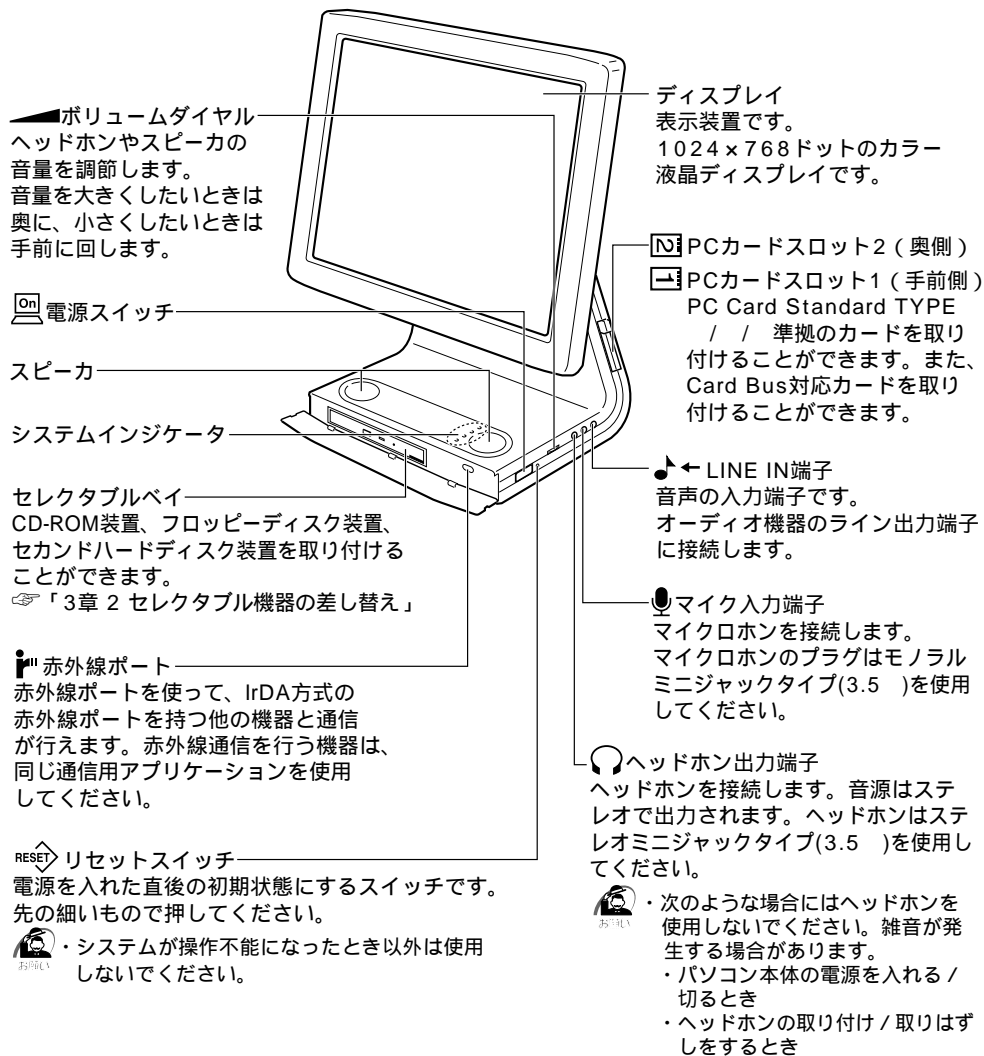
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

<b>1</b>	各部の名称 .....	28
<b>2</b>	環境設定 .....	41
<b>3</b>	接続について .....	43

# 1 各部の名称

## 1 本体正面および右側面

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。

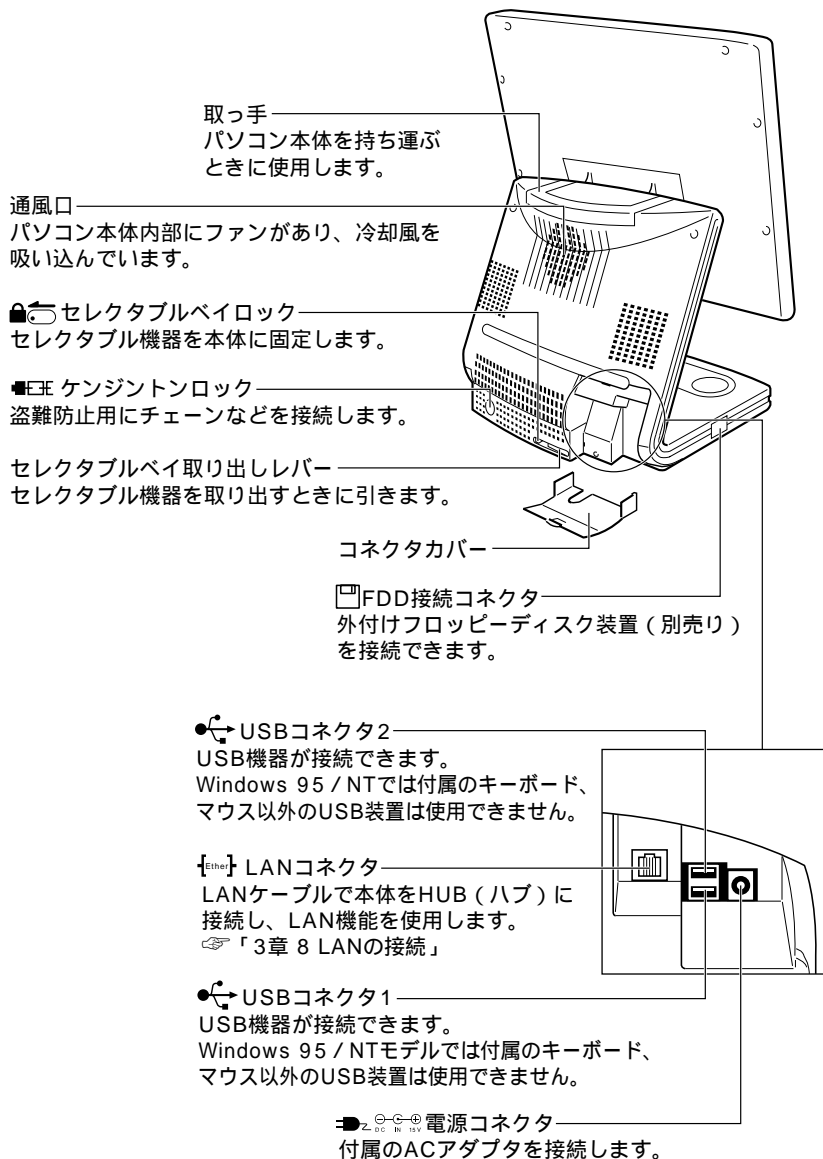


### ● システムインジケータ

それぞれは、次の状態を示します。

	DC IN LED	電源コードの接続状態	緑点灯 オレンジ点滅	ACアダプタ接続 電源異常
	Selectable-Bay LED	セレクトابلベイに取り付けている装置のアクセス状態	点灯	アクセス中
	HDD LED	ハードディスクのアクセス状態	点灯	アクセス中
	Power LED	電源の状態	緑点灯 オレンジ点灯 消灯	電源ON スタンバイ中 (Windows 98 / 2000) サスペンド中 (Windows 95) 電源OFFまたはハイバネーション中 (Windows 2000)

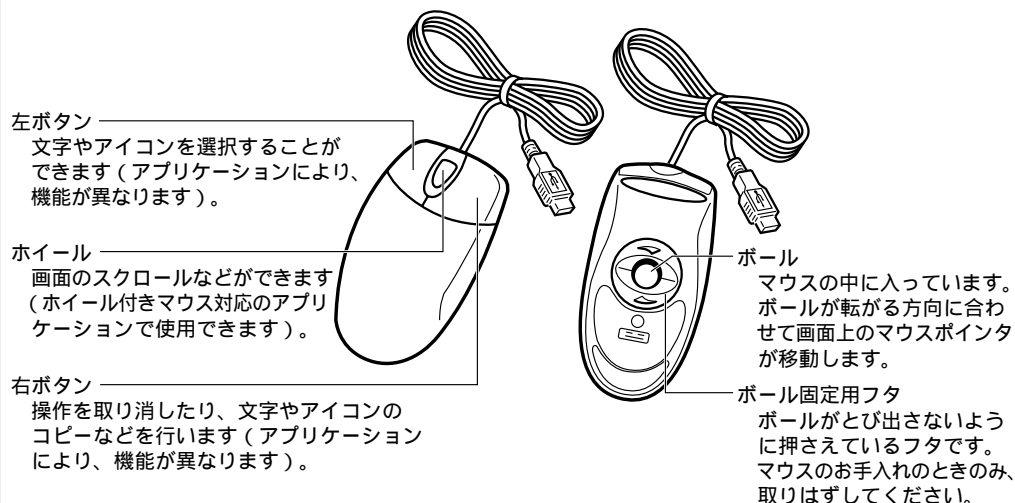
## 2 本体背面



### 3 マウス

画面に表示される「アイコン」「ボタン」「メニュー」などをマウスにより操作します。ここでは、マウスの使い方について説明します。


マウスは、本装置の電源を初めて入れたときに行う Windows のセットアップから使用しますので必ずお読みください。



メモ

- ・2010モデルで Windows NT をセットアップした場合、ホイールをお使いになれません。
- ・[マウスのプロパティ] でマウスボタンやホイールの機能の割り当てを変更することができます。  
[マウスのプロパティ] 画面の出し方
  1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
  2. [マウス] アイコンをダブルクリックする左ききの方などのために、[ボタン] タブで左右のボタンの役割を替えることができます。

### マウスの動かし方

本装置を起動すると、Windows 画面上に矢印 (  ) が表示されます。これを「マウスポインタ」といいます。

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。

マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。



お願い

- ・マウスは平らな机の上などで使用してください。ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- ・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。

## ● マウスの操作方法



お願い

・マウスのボタンを押すときは、ボタンの上に指を置いて押してください。上からたたくように押すと、故障の原因になります。

### ポイント

ポイントとは、画面上のマウスポインタの先端を目的の位置に移動させて置くことをいいます。

### クリック

マウスのボタンを 1 回押して、すぐ離す動作をいいます。  
特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

### ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく 2 回押して、すぐ離す動作をいいます。  
特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

### ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、別の場所に移動させることをいいます。  
特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

また、画面上の「アイコン」などのオブジェクトをドラッグして、移動先でボタンを離すことを「ドラッグ アンド ドロップ」といいます。

### ホイールを回す

ホイールを前後に回す動作をいいます。画面が上下にスクロールします。  
2010 モデルで Windows NT をセットアップした場合、お使いになれません。



## 4 キーボード

本装置のキーボードは、106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)にWin(ウィンドウズ)キー、アプリケーションキーを追加した109キーボードです。

BackSpace(バックスペース)キー  
カーソルが左に移動し、文字が削除されます。

F(ファンクション)キー(F1~F12)  
各アプリケーションソフトにより、いろいろな機能が割り当てられます。

Esc(エスケープ)キー  
操作の取り消しなどに使用します。

Tab(タブ)キー  
項目を移動するときなどに使用します。

無変換キー  
「日本語入力システム」を起動した場合に、入力した文字をかな漢字変換しないときに使用します。

スペースキー  
空白を入力するときや、入力した文字を変換するときに使用します。

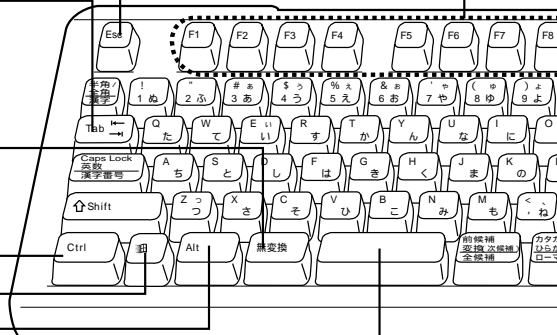
Alt(オルト)キー  
他のキーと組み合わせて使用します(アプリケーションごとに機能が異なります)。

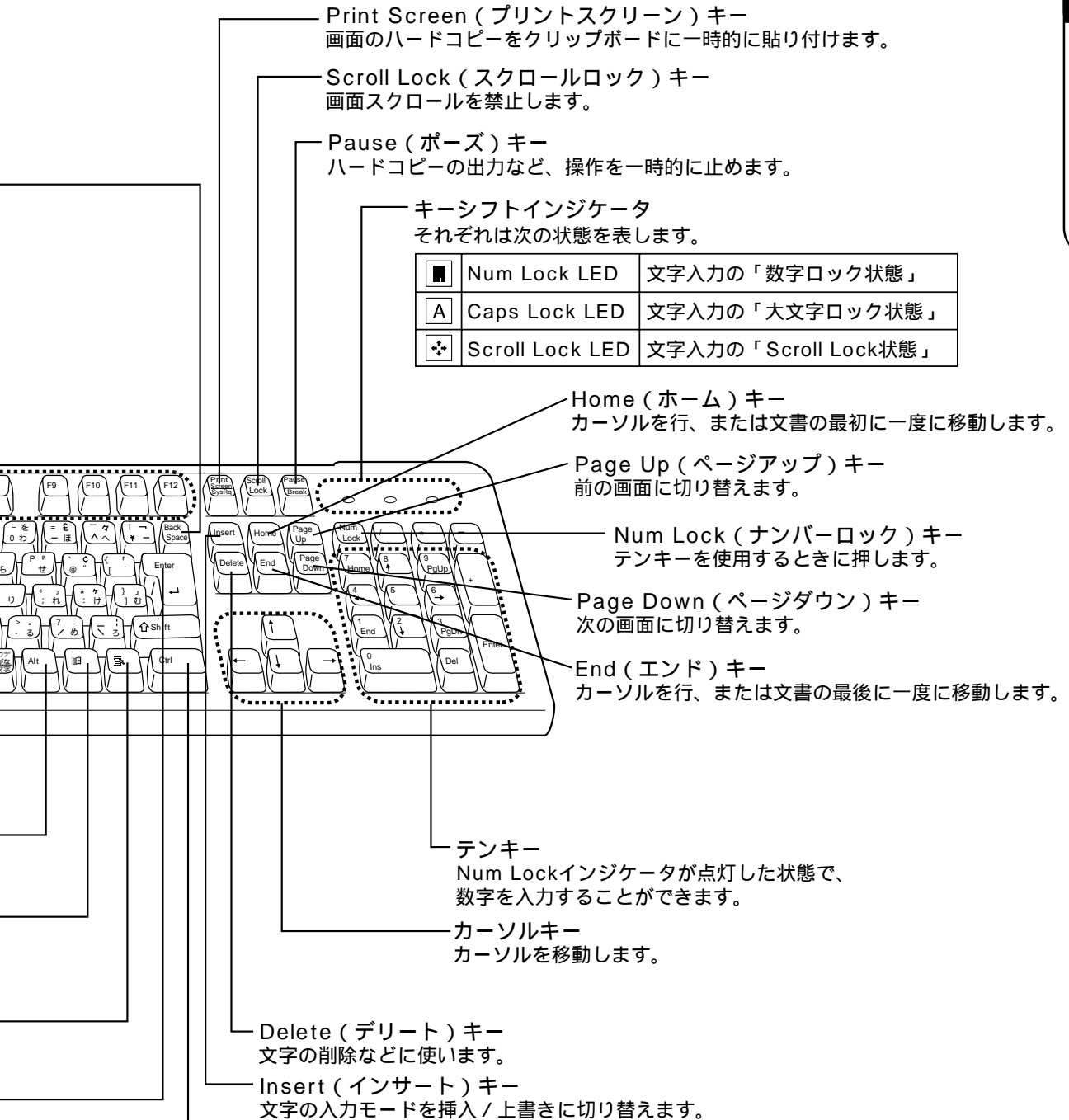
Win(ウィンドウズ)キー  
Windowsの[スタート]メニューを表示したり、他のキーとの組み合わせで、ショートカットとして使用できます。

アプリケーションキー  
マウスの右ボタンをクリックすることと同様の動作をします。

Enter(エンター)キー  
操作を実行するときなどに使います。

Ctrl(コントロール)キー  
他のキーと組み合わせて使用します(アプリケーションごとに機能が異なります)。





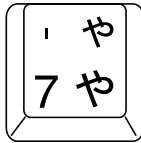
・キーボードに印刷されている「£」「¢」「¥」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

## ● 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを文字キーと呼びます。

文字キーには2～4種類の文字や記号が印刷されています。どの文字や記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。

文字キーに印刷された文字や記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。






入力したい文字や記号	入力操作	内容
左上の文字や記号	[Shift]キーを押しながら押す	記号、アルファベットの大文字が入力できます(この場合は「'」)。 ☞「本節 - 主なキーの呼び方と役割」
右上の文字や記号	カナロック状態で [Shift] を押しながら押す	記号やカタカナの促音、拗音キーが入力できます(この場合は「ヤ」)。 ☞ カナロック状態 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」
左下の文字や記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小文字が入力できます(この場合は「7」)。
右下の文字や記号	カナロック状態で押す	カタカナや記号が入力できます(この場合は「ヤ」)。 ☞ カナロック状態 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」



メモ

- ・ (チルダ)を入力する場合は、[Shift]キー + キーを入力してください。
- ・ [Shift]キー + キーを押しても入力できません。
- ・ (バックslash)を入力すると、「¥」と表示されます。





## ● 主なキーの呼び方と役割

キー	内容
<b>Esc</b> (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
<b>Shift</b> (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字の選択などをします。
<b>Alt</b> (オルト)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
<b>Ctrl</b> (コントロール)	
 (ウイン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
<b>Space</b> (スペース)	空白文字を入力するときに使います。
 (アプリケーション)	マウスの右ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
<b>Insert</b> (インサート)	文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。
<b>Delete</b> (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
 (矢印)	カーソル移動などに使います。
<b>Enter</b> (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
<b>F1</b> ~ <b>F12</b> (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## ● 入力に関する制御キー










キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
<b>Ctrl</b> + <b>CapsLock</b> 英数 (   )	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
<b>Ctrl</b> + <b>Shift</b> + <b>カタカナ/ひらがな</b> (   )	
<b>Shift</b> + <b>CapsLock</b> 英数	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。

## キーを使ったショートカットキー

キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
 + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスを表示する
 + M	すべてをアイコン化する
Shift +  + M	すべてのアイコン化を元に戻す
 + F1	Windows のヘルプを起動する
 + E	Windows エクスプローラを起動する
 + F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl +  + F	他のコンピュータを検索する
 + Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
 + Break	[システムのプロパティ] ダイアログボックスを表示する



## 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内容
システムの再起動	Ctrl + Alt + Delete	  プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。   Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面コピー	PrintScreen	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	Alt + PrintScreen	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願い

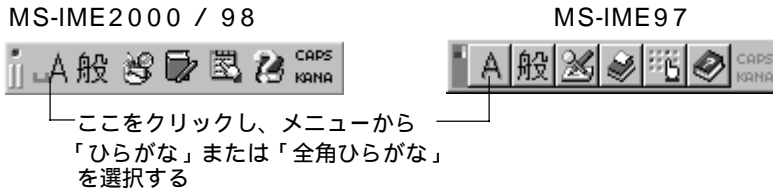
・   システムが操作不能になったとき以外は Ctrl + Alt + Delete キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

## 日本語入力システム

本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。MS-IME のバージョンはお使いのシステムによって異なります。

### 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。



タスクバーの をダブルクリックし、 にする

タスクバーの をクリックし、「日本語入力-オン」を選択する

**[Alt] + [半角/全角]** キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



### 入力モード

ローマ字入力既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン または をクリックし、[全般] タブで「ローマ字入力/かな入力」の設定を変更してください。

ローマ字入力とかな入力の切り替えは、**[Ctrl] + [CapsLock英数]** キー ( )

**[Ctrl] + [Shift] + [カタカナ/ひらがな]** キー) でも可能です。

### 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、**[Space]** キーを押します。

目的の漢字ではない場合は、もう一度 **[Space]** キーを押して、他の漢字を表示します。

さらに **[Space]** キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

**[Space]** キーを押して目的の漢字を選択し、**[Enter]** キーを押します。

MS-IME の使い方 『MS-IME のオンラインヘルプ』



メモ

- ・ツールバーのヘルプアイコン または をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。
- ・半角の [ ` ] (チルダ) を入力するときは、**[Shift] + [ ` ]** キーを押してください。
- ・キーボードに印刷されている「£」、「¢」、「々」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

## 5 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。  
また、標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。  
サウンド機能はMicrosoft Windows Sound System、およびSound Blaster Pro  
に適合しています。サウンドに関する設定は主にWindowsで行います。詳しくは  
『Windowsのヘルプ』をご覧ください。  
スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、またはWindowsの「ボリュームコント  
ロール」を使用します。  
Windowsのボリュームコントロールおよび本体のボリュームダイヤルを最大に設定す  
ると、音が割れることがあります。Windowsのボリュームコントロールは音が割れな  
い音量に設定してください。  
音楽CDなどを高音質でお楽しみいただくためには、ヘッドホンまたは外部スピーカ  
(ヘッドホン出力端子に接続可能)での再生をおすすめします。





### ● ボリュームダイヤルで調整する

本体右側面のボリュームダイヤルで調整します。  
音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。


☞ ボリュームダイヤル ⇨ 「1章 1 各部の名称」

### ● ボリュームコントロールで調整する


#### ● 起動方法

- 1   [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメ  
ント]-[ボリュームコントロール]をクリックする  
  [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[マルチメディ  
ア]-[ボリュームコントロール]をクリックする  
ボリュームコントロールが起動します。

- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する  
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

タスクバーの[スピーカ]アイコン()でスピーカの音量を調整することもできま  
す。[スピーカ]アイコンでの調整方法は、次のとおりです。


## ● [スピーカ] アイコンをクリックする

- 1 タスクバー上の [スピーカ] アイコン (  ) をクリックする  
次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する  
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

## ● [スピーカ] アイコンをダブルクリックする

- 1 タスクバー上の [スピーカ] アイコン (  ) をダブルクリックする  
[スタート]メニューからボリュームコントロールを起動させたときと同じ画面が表示されま  
す。

- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する  
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

詳しくは、「ボリュームコントロール」のヘルプをご覧ください。



メモ

- ・使用するアプリケーションによっては、マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
  - ・本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
  - ・使用しているアプリケーションソフトの設定を変える
  - ・マイクをスピーカから離す



## ● システムスピーカの音量を変える

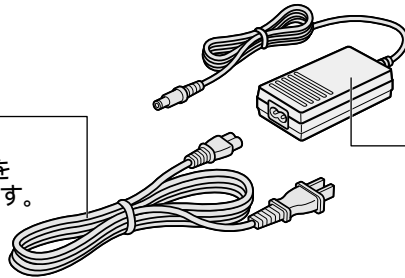
システムスピーカ（システムビープ音）の音量は、次の手順で設定します。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 次のアイコンをダブルクリックする
  - 98 [電源の管理]
  - 95 [パワーマネージメント]
  - 2000 [HW セットアップ]
  - NT [東芝パワーマネージメントシステム]
- 3 次の操作を行う
  - 98 ■95 [Toshiba Power Extensions] タブで [詳細] ボタンをクリックする
  - 2000 [サウンド] タブで [システムビープを鳴らす] にチェックをつける
  - NT [システム設定] タブで [ビープを鳴らす] にチェックをつける
- 4 次の操作を行う
  - 98 [ハードウェアアラーム]-[システムビープ音] で設定する
  - 95 [ハードウェア設定] タブで設定する

## ● 6 その他

.....

電源コード  
電源コンセントから  
ACアダプタに電源を  
供給するケーブルです。



ACアダプタ  
電源コネクタに接続し、  
パソコン本体に電源を  
供給します。

## 2 環境設定

本製品を使用するとき、照明や机・椅子の高さ、画面の角度などの調節次第で快適に作業することができます。正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

ここでは、安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

### ● 設置する環境

**警告** ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。

**注意** ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。



お願い

・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

温度は 10 ~ 35 、湿度は 30 ~ 80% の環境にする  
急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける  
暖房器具などの熱いものの近くには置かない  
腐食性の薬品のそばに置かない

### ● 使用時の環境

適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く  
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。

パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する

換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

### ● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する

おしりよりも膝が少し高くなるように座る

背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する

膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る

前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。



## ● 照明

日光や照明が画面に反射しないように設置する  
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。  
明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体を置かない  
なるべく、柔らかい間接照明などを使用する  
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

## ● 使用方法

リラックスした姿勢で座る  
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。  
適度に姿勢を変える  
時々立ち上がってストレッチする  
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。  
長時間画面を見続けないようにする  
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。  
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる  
30分に2～3分とるのが理想的です。

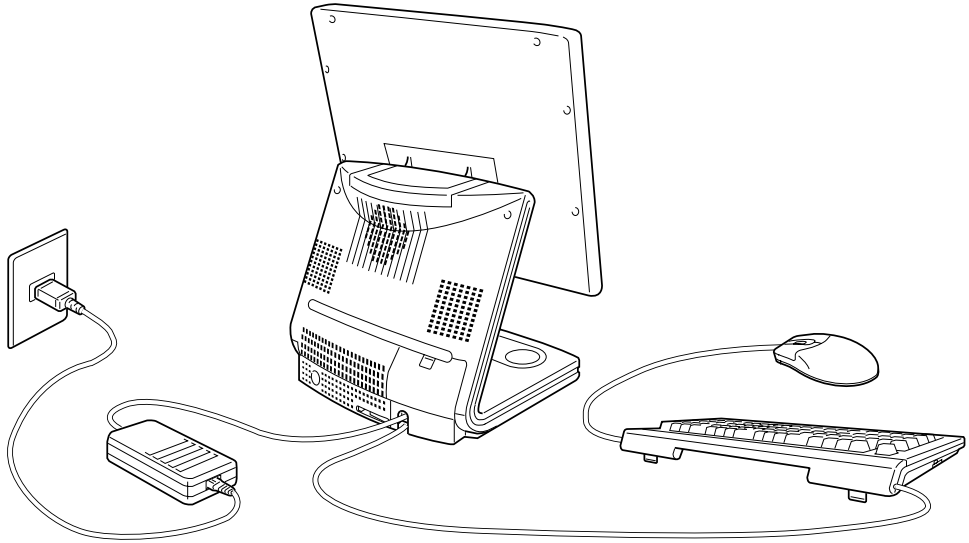
# 3 接続について

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- ・ 本体および接続する機器の電源を切る
  - ・ ケーブル類の取り付け/取りはずしは、必ず本体をおさえコネクタを持って行う
  - ・ コネクタの向きに注意して挿入して接続する
  - ・ プリンタやメモリなど本体に付属していない機器やLANケーブルは、システムのセットアップが終了してから接続する
- ☞ システムのセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」  
☞ 添付されていない機器の接続について ☞ 「3章 ハードウェアについて」

## 1 接続完成図

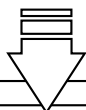
接続した例を次に示します。



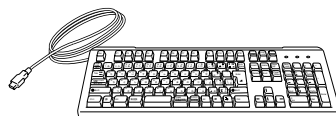
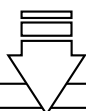
## ② 接続の順番

付属品を接続する場合は、次に示されている順番に従って、接続を行なってください。

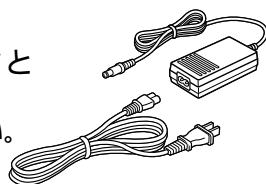
1. マウスをキーボードに



2. キーボードを本体に



3. ACアダプタを本体に、  
電源コードをACアダプタと  
電源コンセントに  
(注)最後に接続してください。




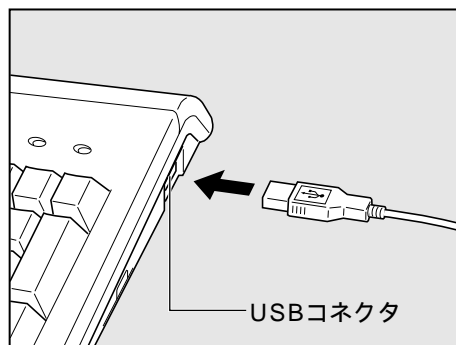
本装置の付属品を取りはずす場合は、本体の電源を切った後、それぞれの取りはずし方法に従って取りはずしてください。取りはずす際は、本体をおさえ、コネクタやプラグを持って行ってください。

## ③ マウスの接続



- 注意**
- マウスの接続は本体の電源が切れている状態で行なってください。本体の故障の原因となります。
  - キーボードのUSBコネクタは、本製品に付属のマウス以外は接続できません。

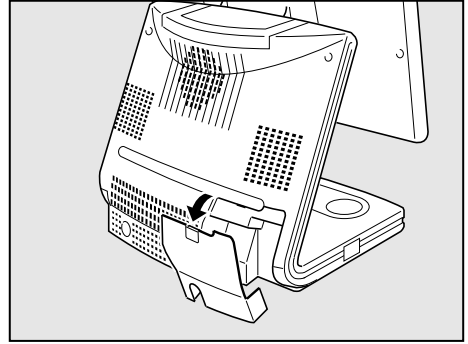
- 1** マウスのプラグをキーボード右側面奥のUSBコネクタに差し込む  
プラグに刻印されているUSBアイコンを上側にして、しっかりと奥まで差し込んでください。




## 4 キーボードの接続

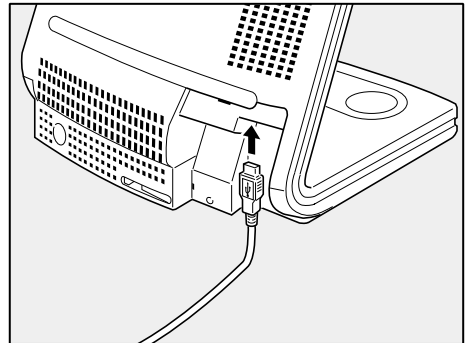
**注意** ・キーボードの接続は本体の電源が切れている状態で行なってください。  
本体の故障の原因となります。

- 1** 本体背面のコネクタカバーを取りはずす

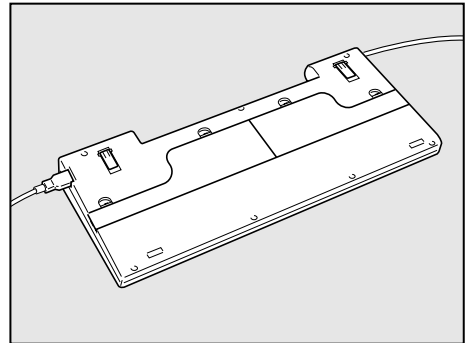


- 2** キーボードのプラグを USB コネクタに差し込む

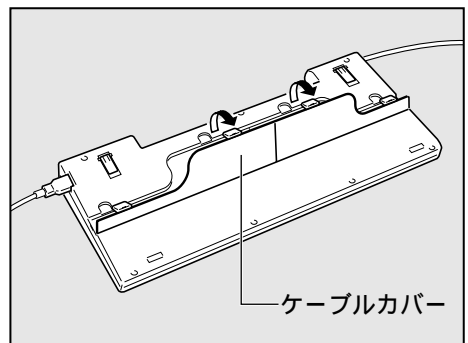
プラグに刻印されている USB アイコン  が手前側にくる状態で差し込んでください。



- 3** キーボードを裏返す



- 4** ケーブルカバーを開く



## 5 マウスケーブルとキーボードケーブルをケーブルカバーの下に収納する



お願い

・ケーブルが重ならないように収納してください。ケーブルが重なった状態ではケーブルカバーが閉じません。

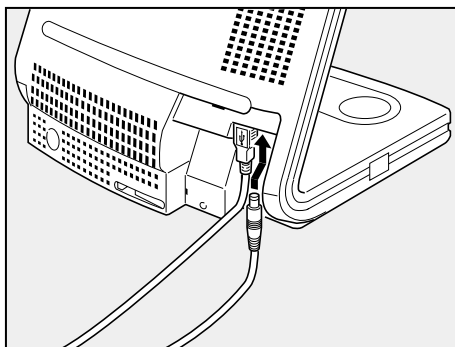
## 6 ケーブルカバーを閉じる

## 7 キーボードを表に返す

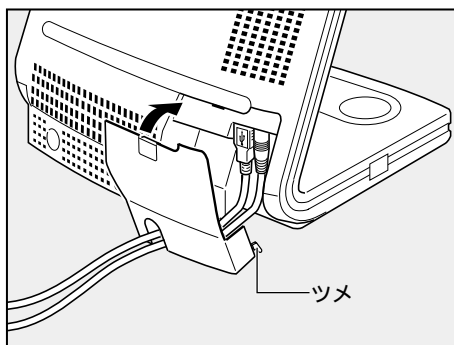
# 5 電源への接続

ACアダプタ、電源コードの接続は次の図のように行います。はずすときは逆の手順で行います。

### 1 本体の電源コネクタに AC アダプタのプラグを接続する



### 2 コネクタカバーの穴からキーボードのケーブルと AC アダプタのケーブルを出し、パソコン本体にコネクタカバーを取り付ける



メモ

・コネクタカバーを取り付けるときは、本体の溝とコネクタカバーのツメを合わせてください。

### 3 AC アダプタと電源コードを接続する

### 4 電源コードを電源コンセントに接続する

電源コードを接続したら、DC IN への LED が点灯することを確認してください。

☞ 電源の入れ方 ☞ 「2 章 1 電源を入れる」

## ● 取り扱い方法

電源コード、AC アダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



### 警告

- ・付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。  
本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



### 注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。  
感電するおそれがあります。
- ・通電中、AC アダプタの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。  
持ち運ぶときは、電源コードを抜き温度が下がってから行ってください。
- ・温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。  
あとがつくことがあります。



お願い

- ・AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。







# 2

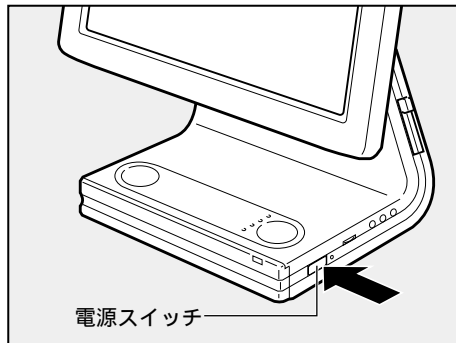
## 電源を入れて切るまで





電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、  
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

<b>1</b>	電源を入れる .....	50
<b>2</b>	初めて電源を入れるとき .....	52
<b>3</b>	電源を切る .....	81
<b>4</b>	オンラインマニュアルの起動 .....	91

- 1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる  
フロッピーディスク装置を接続している場合は、フロッピーディスクが入っていないことを確認してください。
- 2 Power  LED が点灯するまで、電源スイッチを押す  
Power  LED が緑色に点灯します。パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。





スタンバイ (   )、サスペンド (  ) またはハイバネーション (  ) 機能を実行した場合は、スタンバイ / サスペンド / ハイバネーションに入る前の状態が再現されます。

Windows NT の場合、スタンバイ / サスペンド / ハイバネーション機能はありません。スタンバイ / サスペンド / ハイバネーション機能を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。



メモ

- ・スタンバイ / サスペンド機能を設定している場合、スタンバイ / サスペンド中は Power  LED がオレンジ色に点灯します。  
☞ スタンバイ / サスペンド機能の詳細 ⇨ 「本章 3 電源を切る」、「5 章 便利な機能」
- ・ハイバネーション機能を設定している場合、ハイバネーション中は Power  LED が消灯します。  
☞ ハイバネーション機能の詳細 ⇨ 「本章 3 電源を切る」、「5 章 便利な機能」
- ・Windows 98 / 95 の場合は、初めて電源を入れたとき、[ Windows セットアップの確認 ] の画面が表示されます。Windows 2000 / NT の場合は、システムを選択画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、Windows のセットアップを行なってください。  
☞ セットアップの方法 ⇨ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」
- ・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行います。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。

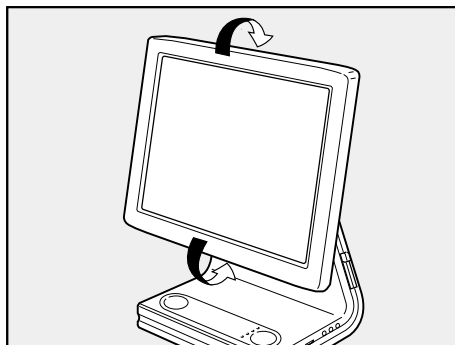
## ● ディスプレイの角度を調整する

画面が見にくい場合は、ディスプレイ下側の左右を持ち、静かに動かしてください。



お願い

・向きを変える場合、無理に動かさないでください。



## ● 次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

(1) `Bad x x x x x x x x`

この場合は[F1]キーを押して、セットアップ画面を表示させます。[Home]キーを押して標準に設定してください。

[End]キーを押して終了し、[Y]キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

☞ セットアップ画面について ☞ 「4章 1-1 セットアッププログラムを起動する方法」

(2) `WARNING: x x x x x`

この場合は、[Enter]キーを何回か押してください。

(3) `WARNING RESUME FAILURE.  
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.`

スタンバイ / サスペンド機能によるシステム起動ができないというメッセージです。スタンバイ / サスペンドに入る前の状態は再現できません。この場合は、どれかキーを押してください。

(4) `WARNING: CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE  
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.`

ハイバネーション機能によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る直前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

## ② 初めて電源を入れるとき

初めて電源を入れたときは、Windows を使えるようにするための「Windows セットアップ」を行う必要があります。1度システムのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにシステムを使用することができます。

本製品には、次のモデルがあります。

- ・Windows 98 モデル
- ・Windows 95 モデル
- ・Windows 2000 / NT モデル

セットアップ方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。



- 注意**
- ・マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
  - ・増設メモリやPCカードを取り付けたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。マウスやキーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行なってください。
  - ・セットアップを行うときは、LANケーブルは接続しないでください。LANケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値 (Default) のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
  - ・システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
  - ・やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。







お願い

- ・ケーブル類が確実に接続されていることを、再度確認してください。
- ・セットアップを行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。
- ・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・15分以上キーを押さない (マウスの操作も含む) 場合、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。[Shift] キーを押すか、マウスを動かすと画面に表示されます。また、Windows 98 / 95 / 2000 の場合、Power LED がオレンジ色に点灯しているとき (スタンバイ / サスペンド状態) は、電源スイッチを押すと画面に表示されます。
- ・カスタム・リカバリ CD (   ) やリカバリ CD (   ) でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

# 1 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分で終了します。

## ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書(Windows のライセンス)への同意

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

## 日付と時刻の設定

「日付と時刻のプロパティ」画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。



お願い

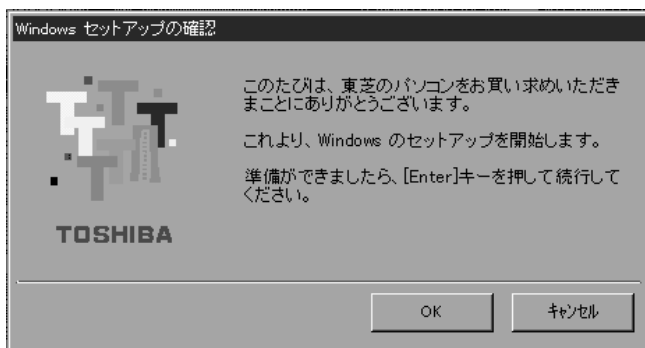
・ Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。

このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。

紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

## セットアップの操作手順

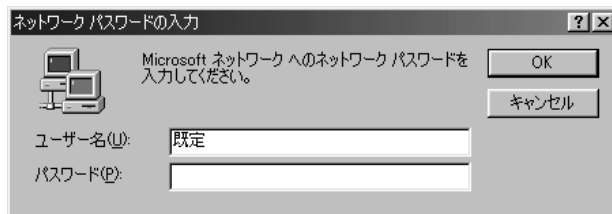
初めて電源を入れると、[ Windows セットアップの確認 ] 画面が表示されます。



### 1 [Enter] キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ ネットワークパスワードの入力 ] 画面が表示されます。



## 2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Delete] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt] キーを押したまま、[半角/全角] キーを押してください。



・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4 ~ 8 文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

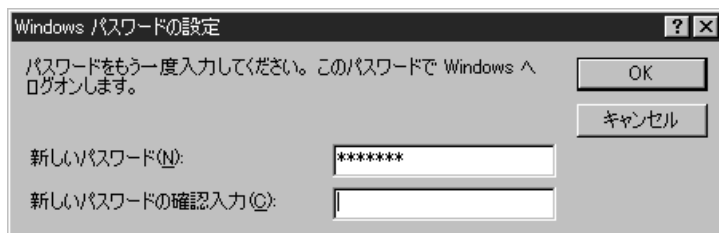
使用できる文字（すべて半角）		使用できない文字
アルファベット	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z	・全角文字 ・日本語入力システムの起動が必要な文字 例：漢字、カタカナ、ひらがな など ・単独のキーで入力できない文字 例： （パーチカルライン）、&（アンド）、 （チルダ）など ・¥（エン） [↓] キーや [↵] キーを押すと ¥ が入力されます。
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
記号 （単独のキーで入力 できる文字の一部）	- ^ @ [ ] ; : , . /（スペース）	

入力したパスワードは「\*\*\*\*」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



- 4 登録したパスワードをもう一度入力し、[ OK ] ボタンをクリックする  
[ ようこそ ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[ OK ] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Delete] キーで [ 新しいパスワードの確認入力 ] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す  
カーソルが [ 新しいパスワード ] に戻ります。
- 3 [Delete] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [ 新しいパスワードの確認入力 ] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

- 5 [Esc] キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は [M] キーを押してください。  
入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[ Windows 98 へようこそ ] 画面が表示されます。





## 6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、**[Tab]**キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム (MS-IME) を起動します。**[Alt]**キーを押したまま、**[半角/全角]**キーを押してください。

## 7 [次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] 画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、**[PageUp]**キー、**[PageDown]**キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



## 8 画面の [同意する] をチェック (左側の 印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了] 画面が表示されます。



**11** [完了] ボタンをクリックする

[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。

**12** [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

**13** [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

**14** [閉じる] ボタンをクリックする

[日付] [時刻] [タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。Windows のセットアップが終了し、Windows のデスクトップ画面が表示されます。



メモ

・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。  
 ユーザ登録 ⇨ 「本節 5 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

## ② Windows 95 のセットアップ

Windows 95 のセットアップでは、次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分程で終了します。

### ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意  
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意  
するかしないかを選択してください。なお、[ 同意する ] を選択しないと Windows  
を使用することはできません。

### Product ID 入力

パソコン本体に貼られているラベルに印刷されている Product ID を入力します。

### 日付と時刻の設定

「日付と時刻のプロパティ」画面でパソコンの日付と時刻を設定します。

### プリンタウィザード

使用するプリンタを選択します。

セットアップ後に設定することができますので、ここでは設定しません。

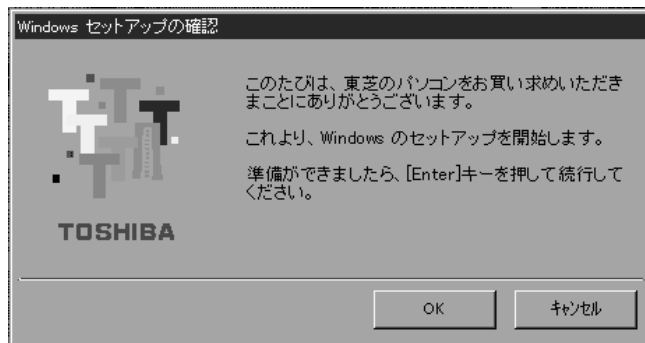


お願い

- ・ Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。  
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、次の [ Windows セットアップの確認 ] 画面が表示されます。



## 1 [Enter]キーを押す

Windows 95 のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ユーザー情報]の画面が表示されます。



## 2 名前と会社名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。会社名を入力するには、名前を入力した後 [Tab] キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

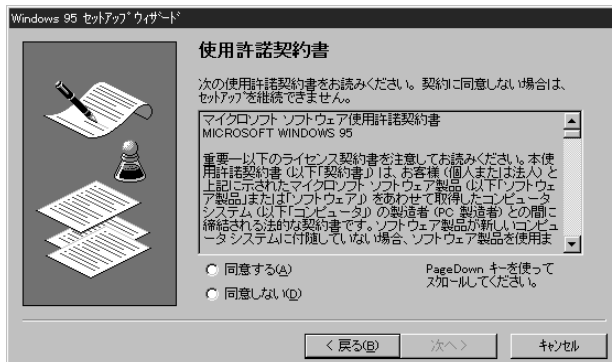
“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 3 [次へ] ボタンをクリックする

[使用許諾契約書]の画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか [PageUp] キー、[PageDown] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

#### 4 画面下部の [ 同意する(A) ] をチェック (左側の 印をクリック) して、 [ 次へ ] ボタンをクリックする



・[ 同意しない(D) ] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ Certificate of Authenticity ] の画面が表示されます。



#### 5 Product ID を入力する

Product ID は、パソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。

【例】

XXXXX	-OEM-	XXXXXXXX	-	XXXXX
-------	-------	----------	---	-------

入力を間違えた場合は、**[ BackSpace ]** キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・ Product ID は、1度入力して確定すると変更することができませんので、正確に入力してください。
- ・ Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。紛失すると Windows 95 のセットアップはできなくなります。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

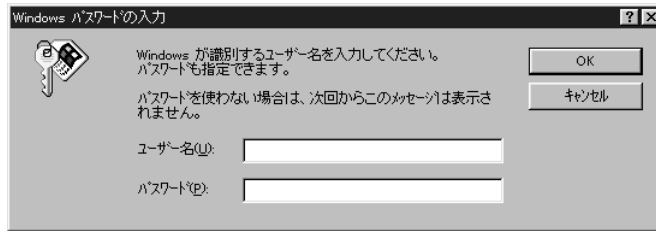
#### 6 [ 次へ ] ボタンをクリックする

[ ウィザードの開始 ] 画面が表示されます。



**7** [完了] ボタンをクリックする

[Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。

**8** [キャンセル] ボタンをクリックする

ネットワークパスワードの設定は、セットアップ終了後に Windows 95 上で行うことができるので、ここではネットワークパスワードの設定は行いません。

☞ ネットワークパスワードの設定について ☞ 「3章 8-5- 起動時のパスワードの入力」

[キャンセル] ボタンをクリックすると、パソコンの環境設定が始まります。しばらくすると、[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。

**9** [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

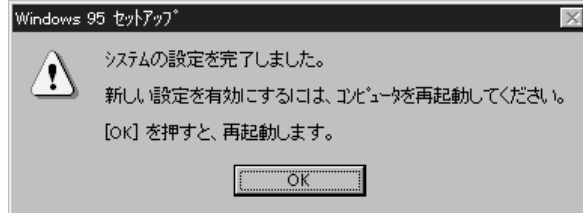
**10** [日付と時刻] タブをクリックし、日付および時刻を設定して [閉じる] ボタンをクリックする

「Microsoft Exchange」の環境設定が行われます。

終了すると「プリンタウィザード」画面が表示されます。

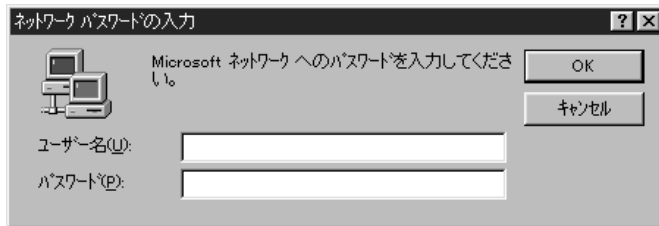
## 11 [キャンセル] ボタンをクリックする

プリンタの設定はセットアップ終了後に Windows 95 上で行うことができるので、ここでは、プリンタの設定は行いません。Windows 95 セットアップのシステムの設定完了の画面が表示されます。



## 12 [OK] ボタンをクリックする

Windows 95 のセットアップが完了しました。コンピュータが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。



## 13 ユーザー名を入力する

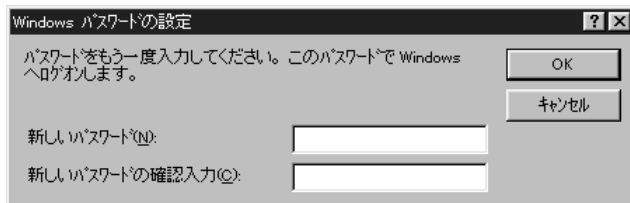
パスワードは入力しないでください。

ただし、ユーザー名は入力しないと、通信アプリケーションが正しく動作しませんので必ずユーザー名を入力してください。

ユーザー名とパスワードの設定は、セットアップ終了後に変更することができます。

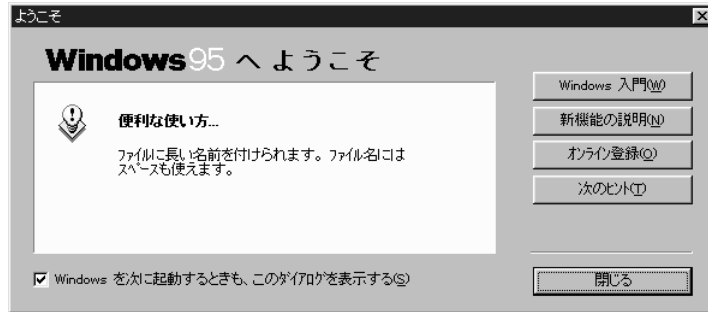
[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

☞ ネットワークパスワードの設定方法について ☞ 「3 章 8-5- 起動時のパスワードの入力」



## 14 [OK] ボタンをクリックする

[ようこそ] 画面が表示されます。



この画面の [ Windows 入門(W) ] [ 新機能の説明(N) ] [ 次のヒント(T) ] などのボタンをクリックすることにより Windows 95 の概要を知ることができます。

Windows 95 をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。




メモ

- ・[ようこそ] の下部にあるチェックボックス ( Windows を次に起動するときも、このダイアログを表示する ) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 95 が起動したときは [ようこそ] は表示されません。
- ・[ようこそ] ダイアログボックスを再表示するときは、[ スタート ] - [ プログラム ] - [ アクセサリ ] - [ ヒントとツアー ] をクリックし、画面の指示に従ってください。

## 15 [閉じる] ボタンをクリックする



メモ

- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。  
 ユーザ登録 ⇨ 「本節 5 ユーザ登録をする」

### ● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』をご覧ください。



## 3 Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。  
また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows 2000 のセットアップでは、次のことを行います。

マイクロソフト 使用許諾契約書 (Windows のライセンス) への同意  
マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[ 同意する ] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

ユーザー情報の登録

名前、会社名 (省略可能) と組織名を登録します。

コンピュータ名の指定

使用するコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力します。

コンピュータ名は自動で作成されます。変更することもできます。

コンピュータ名の付け方に関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

日付と時刻の設定

「日付と時刻の設定」画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

ネットワークの設定

ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。

ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

- ・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。  
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

### 1 [ Windows 2000 ] を選択し、 キーを押す

キーで選択し、 キーで確定します。

キーを押すと、確認画面が表示されます。

### 2 [ Windows 2000 ] と表示してあることを確認し、 キーを押す



メモ

- ・Windows NT に変更したい場合は、 以外のキーを押してください。  
1 つ前の画面に戻ります。その後、Windows NT のセットアップの手順に従ってください。  
☞ Windows NT のセットアップについて ☞ 「本節 4 Windows NT のセットアップ」

- 3** セットアップ終了のメッセージが表示されたら **[Enter]** キーを押す  
パソコンが再起動し、[ Windows 2000 セットアップウィザードの開始 ] 画面が表示されます。



- 4** [ 次へ (N) ] ボタンをクリックする

[ ライセンス契約 ] の画面が表示されます。

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか **[PageUp]** キー、**[PageDown]** キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



## 5 画面下部の [ 同意します (A) ] をチェックして [ 次へ (N) ] ボタンをクリックする



メモ

・[ 同意しません (D) ] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ ソフトウェアの個人用設定 ] の画面が表示されます。



## 6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

**1** **N** **A** **K** **A** **T** **A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

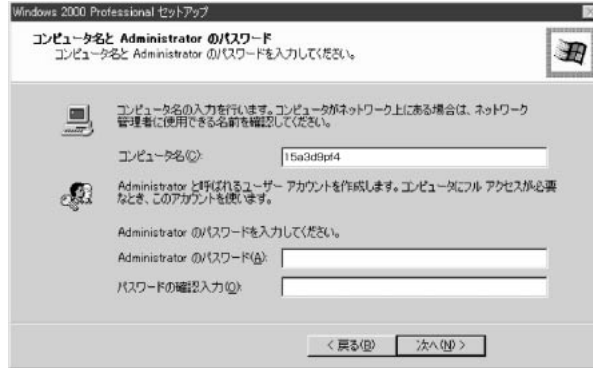
**2** ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は、**Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

**Space** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

- 7** [次へ (N)] ボタンをクリックする  
[コンピュータ名と Administrator のパスワード] の画面が表示されます。



(表示例)

- 8** コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する  
コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で 15 文字以内の名前を入力してください。  
コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。  
Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。  
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

- 9** [次へ (N)] ボタンをクリックする  
[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



- 10** [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。  
タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。  
「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 11 [次へ (N)] ボタンをクリックする [ネットワークの設定] 画面が表示されます。



## 12 ネットワークの設定をする ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。 標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



メモ

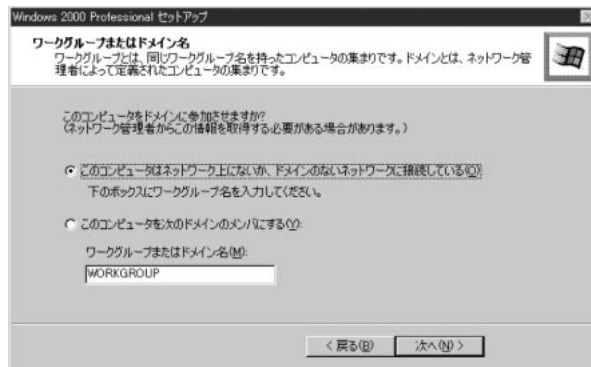
- ・標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- ・カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。



お願い

- ・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 13 [次へ (N)] ボタンをクリックする [ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



## 14 ワークグループまたはドメイン名の設定をする ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。 ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。 選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ (ドメイン) 名を入力してください。



お願い

- ・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ (ドメイン) 名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

**15** [次へ (N)] ボタンをクリックする

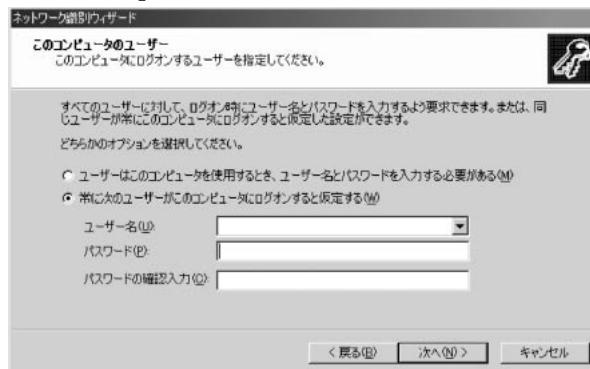
設定の保存後、[ Windows 2000 セットアップウィザードの完了 ] 画面が表示されます。

**16** [完了] ボタンをクリックする

再起動します。再起動後に [ ネットワーク識別ウィザードの開始 ] 画面が表示されます。ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。

**17** [次へ (N)] ボタンをクリックする

[ このコンピュータのユーザー ] 画面が表示されます。



## 18 ユーザの設定をする

このパソコンで使用するユーザを指定します。

「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」

...指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」

...指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順 6 で入力した名前、あるいは Administrator です。

ボタンをクリックして選択してください。

## 19 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。



## 20 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 18 で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき...」を選択した場合、[Windows へログオン] 画面が表示されます。Administrator のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。

手順 18 で「常に次のユーザーがコンピュータに...」を選択した場合、指定されたユーザ (Administrator または例: 中田) で自動的にログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。





メモ

- ・[ Windows 2000 の紹介 ] の下部にあるチェックボックス ( スタートアップ時にこの画面を表示 ) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [ Windows 2000 の紹介 ] は表示されません。  
[ Windows 2000 の紹介 ] 画面を再表示するには、[ スタート ] - [ プログラム ] - [ アクセサリ ] - [ システムツール ] - [ はじめに ] をクリックしてください。
- ・[ Windows 2000 の紹介 ] 画面で [ Windows について ] をクリックすると、「Windows 2000 CD が見つかりません」というメッセージが表示される場合があります。  
その場合は、[ キャンセル ] ボタンをクリックし、[ C:¥Winnt ] と入力してください。[ OK ] ボタンをクリックすると、Windows 2000 の新機能についての紹介をご覧になることができます。
- ・Windows 2000 を選択された場合は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。  
Cドライブ: 約 4GB、NTFS システム  
ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクの管理を使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。  
ディスクの管理の詳細は、『Windows 2000 のヘルプ』をご覧ください。
- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。  
☞ ユーザ登録 ☜ 「本節 5 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使い方

Windows の使い方については、『クイックスタートガイド』、または [ スタート ] - [ ヘルプ ] をクリックして『Windows のヘルプ』をご覧ください。



## 4 Windows NT のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。  
また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows NT のセットアップでは、次のことを行います。

### ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意  
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[ 同意する ] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

### コンピュータ名の登録

ネットワーク上でパソコンを個別に認識するためにコンピュータ名の登録を行います。

コンピュータ名の付け方は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

セットアップ終了後に、Administrator パスワードの設定と、システム修復ディスクの作成を行なってください。

☞ 「本項 Administrator パスワードの設定 / 変更」

☞ 「本項 システム修復ディスクの作成」

セットアップ終了後に、[ コントロールパネル ] - [ 日付と時刻のプロパティ ] 画面の [ 日付と時刻 ] タブで、パソコンの日付と時刻の設定を行なってください。



お願い

- ・プロダクトID がパソコン本体に貼られたラベルに印刷されています。  
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。  
初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

### 1 [ Windows NT ] を選択し、[ Enter ] キーを押す

キーで選択し、[ Enter ] キーで確定します。  
[ Enter ] キーを押すと、確認画面が表示されます。

### 2 [ Windows NT ] と表示してあることを確認し、[ F8 ] キーを押す



メモ

- ・ Windows 2000 に変更したい場合は、[ F8 ] 以外のキーを押してください。  
1つ前の画面に戻ります。その後、Windows 2000 のセットアップの手順に従ってください。
- ☞ Windows 2000 のセットアップについて ☞ 「本節 3 Windows 2000 のセットアップ」

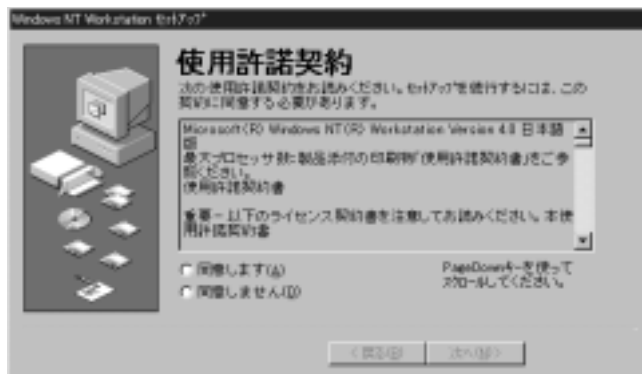
### 3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら [ Enter ] キーを押す

コンピュータが再起動し、[ Windows NT セットアップ ] 画面が表示されます。



### 4 [ 次へ ( N ) ] ボタンをクリックする

[ 使用許諾契約 ] 画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。  
表示されていない部分を見るには、 ボタンをクリックするか  [ PageUp ] キー、 [ PageDown ] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

## 5 画面下部の [ 同意します (A) ] をチェック (左側の をクリック) して [ 次へ (N) ] ボタンをクリックする



・[ 同意しません (D) ] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ 名前と組織名 ] 画面が表示されます。



## 6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



・日本語入力システムが起動しています。  
ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。  
例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 **[ N ] [ A ] [ K ] [ A ] [ T ] [ A ]** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**[ BackSpace ]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**[ Enter ]** キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は **[ Space ]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[ Enter ]** キーを押す

**[ Space ]** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**[ Enter ]** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 7 [ 次へ (N) ] ボタンをクリックする

[ コンピュータ名 ] 画面が表示されます。



## 8 コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

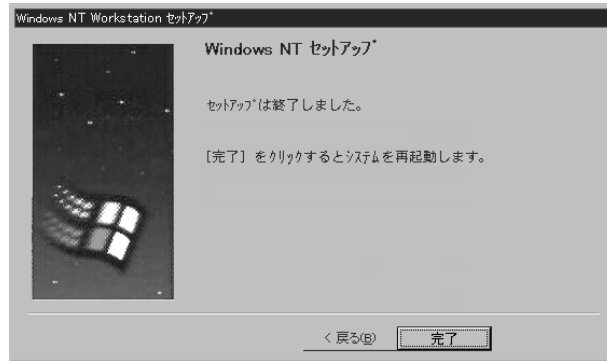


お願い

・コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrator 権限でログオンし、[コントロールパネル]の[ネットワーク]を起動して変更してください。

## 9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

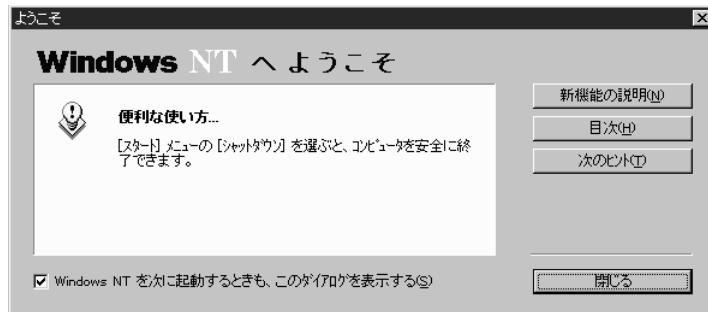
[セットアップは終了しました]画面が表示されます。



## 10 [完了] ボタンをクリックする

Windows NTのセットアップが完了しました。

パソコンが自動的に再起動し、[ようこそ]画面が表示されます。



この画面の [新機能の説明(N)] [次のヒント(T)] などのボタンをクリックすることにより Windows NT の概要を知ることができます。

Windows NT をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。



お願い

・コントロールパネルの [日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。



メモ

- ・[ようこそ]の下部にあるチェックボックス(Windows NTを次に起動するときも、このダイアログを表示する)をクリックしてチェックを解除すると、次にWindows NTが起動したときは[ようこそ]は表示されません。  
ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。  
☞ [ようこそ]ダイアログボックスを再表示する方法 ☞ 『Windows NTのヘルプ』
- ・Windows NTモデルご購入時は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。  
Cドライブ: 約4GB、NTFSシステム  
ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。  
ディスクアドミニストレータの詳細は、『Windows NTのヘルプ』をご覧ください。
- ・東芝とMicrosoft社へのユーザ登録を行なってください。  
☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 5 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使い方

Windowsの使い方については、[スタート]-[ヘルプ]をクリックして、『Windowsのヘルプ』をご覧ください。

## Administrator パスワードの設定 / 変更

セットアップ直後の初期状態では、Administrator のパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。

セットアップ作業から継続している方は、手順 1 と 4 は必要ありません。



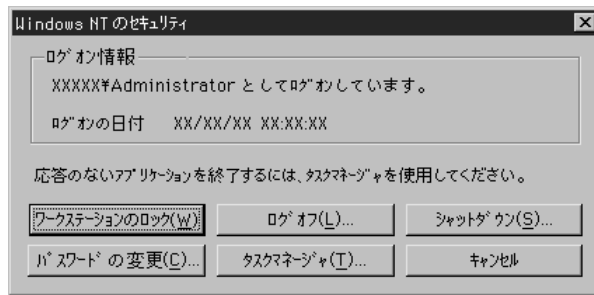
お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。  
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

### 1 Administrator でログオンする

### 2 **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押す

[ Windows NT のセキュリティ ] 画面が表示されます。



### 3 [パスワードの変更 (C)] ボタンをクリックする

[パスワードの変更] 画面が表示されます。



### 4 [古いパスワード (O)] ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する

初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。

入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

### 5 [新しいパスワード (N)] ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する

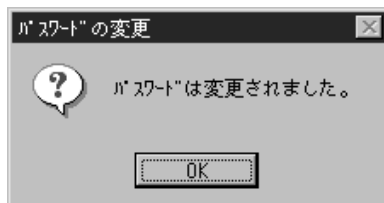
入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

### 6 [新しいパスワードの確認入力 (C)] ボックスに、同じパスワードを入力する

入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

## 7 [OK] ボタンをクリックする

パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。



## 8 [OK] ボタンをクリックする

[ Windows NT のセキュリティ ] 画面に戻ります。

新しいパスワードは、次のログオンから有効になります。

## 9 [キャンセル] ボタンをクリックする

# ● システム修復ディスクの作成

システム修復ディスクを作成しておく、システムファイルが破損した場合に、セットアップが完了した直後の状態にシステムを復元することができます。

2HD 形式 / 1.44MB でフォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚と、別売りのフロッピーディスク装置をご用意ください。

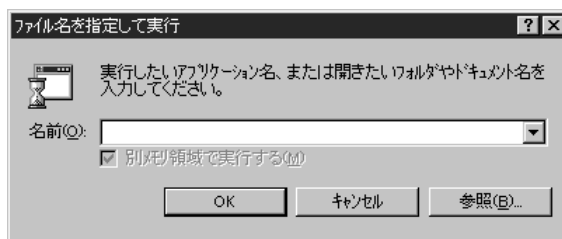


お願い

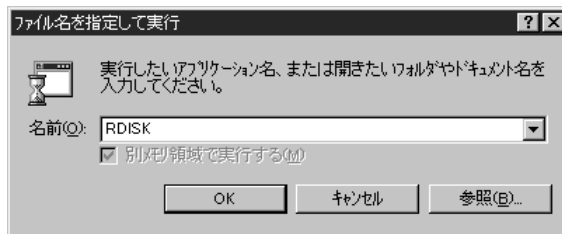
- ・システム修復ディスクの作成には、FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置 (PA2669UJ) が必要です。セレクトラブルベイ用フロッピーディスク装置では、システム修復ディスクの作成はできません。
- ・システム修復ディスクを作成すると、フロッピーディスクに入っているデータはすべて消えてしまいます。作業の前に、フロッピーディスクに何も保存していないことをご確認ください。

## 1 [スタート] ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

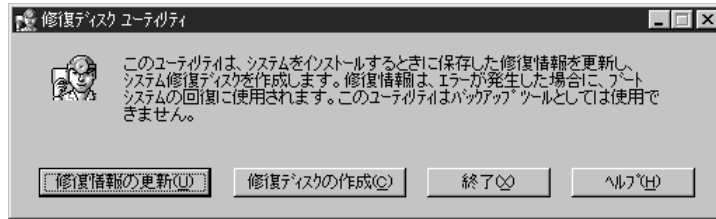


## 2 [名前 (O)] ボックスに「RDISK」と入力する



**3** [OK] ボタンをクリックする

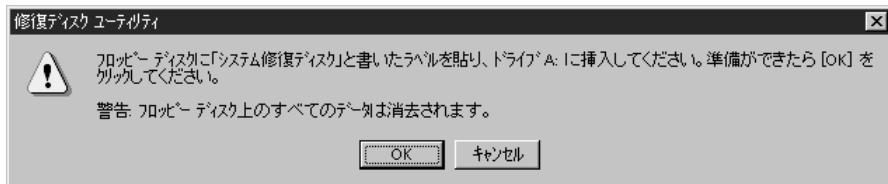
[修復ディスクユーティリティ] 画面が表示されます。



システム修復ディスクの詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプをご覧ください。

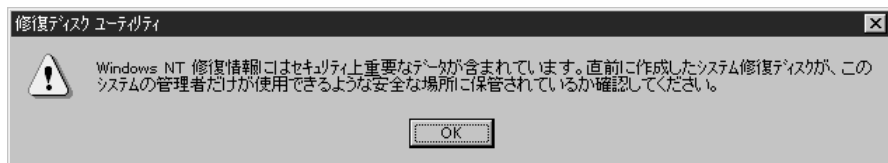
**4** [修復ディスクの作成(C)] ボタンをクリックする

次のメッセージが表示されます。

**5** 2HD 形式 / 1.44MB フォーマットのフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットする**6** [OK] ボタンをクリックする

システム修復ディスクの作成が始まります。

システム修復ディスクの作成が終了すると、次のメッセージが表示されます。

**7** [OK] ボタンをクリックする

[修復ディスクユーティリティ] 画面に戻ります。

**8** [終了(X)] ボタンをクリックする**9** フロッピーディスク装置から、システム修復ディスクを取り出す

システム修復ディスクは、分かりやすいようにラベルなどを貼り、大切に保管してください。

☞ システム修復ディスクについて

☞ 『システム修復ユーティリティのヘルプ』、『Windows NT に付属の説明書』



## 5 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録およびマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行ってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットで登録する場合は、モデムなどが必要です。

### ● 東芝へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。モデムを使ってインターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### インターネットをご利用になる場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

### ● Microsoft 社へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがきで登録できます。

また、Windows 98 / 95 / 2000 の場合、インターネットで登録できます。モデムを使ってインターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

#### ■ 98

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[Windows へようこそ]で[今すぐ登録]をクリックする

#### ■ 95

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[オンライン登録]をクリックする

#### ■ 2000

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[はじめに]で[今すぐ登録]をクリックする

# 3 電源を切る

パソコン本体の電源を切るには、次の方法があります。

電源を切るときに、シャットダウン/サスペンド/スタンバイ/ハイバネーション機能を実行することができます。サスペンド/スタンバイ/ハイバネーション機能を実行するには、あらかじめ設定が必要です。

## ● シャットダウン機能

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ります。

## ● サスペンド/スタンバイ機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。

次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

\* Windows NT にはサスペンド/スタンバイ機能はありません。

## ● ハイバネーション機能

Windows 2000 でのみ使用できます。

電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。

スタンバイ機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

## ● 電源を切るときのお願ひ



**注意** ・作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。

なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けると電源が切れます。その際、データは消失する可能性があります。

電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、5秒以上たってから入れてください。

5秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。

アプリケーションを起動しているときは、データを保存し、アプリケーションを終了させてください。

☞ 『各アプリケーションに付属の説明書』

# 1 Windows 98 の電源の切り方

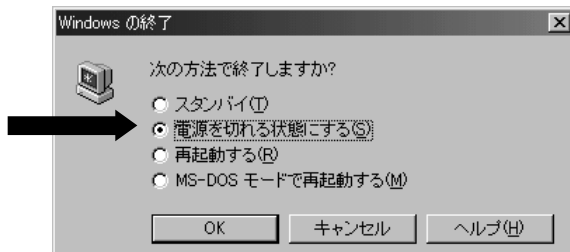
## ● [スタート]メニューから Windows を終了する方法

- 1 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置の LED が消えていることを確認する  
CD やフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [Windows の終了 (U)] を選択し、クリックする  
[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)

- 3 [電源を切れる状態にする (S)] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする



- 4 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## ● [スタート]メニューから [スタンバイ] を選ぶ方法

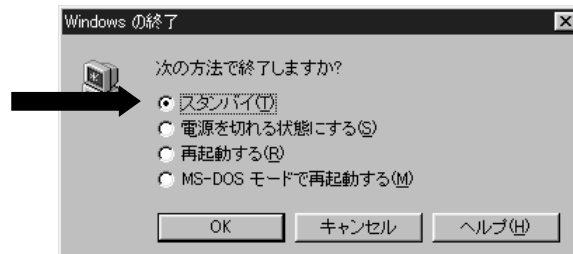
あらかじめ [電源の管理] の [電源設定] タブのそれぞれのメニューでスタンバイの設定をしてください。

- 1 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
CDやフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [Windows の終了 (U)] を選択し、クリックする  
[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)

- 3 [スタンバイ (T)] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする  
スタンバイ機能を実行して終了します。



- 4 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## ② Windows 95 の電源の切り方

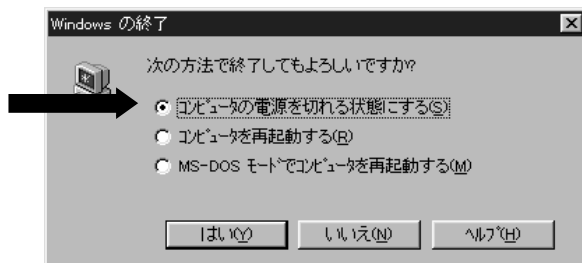
### ● [スタート]メニューから Windows を終了する方法

- 1 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置の LED が消えていることを確認する  
CD やフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [Windows の終了 (U)] を選択し、クリックする  
[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)

- 3 [コンピュータの電源を切れる状態にする (S)] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする



- 4 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## ● [スタート]メニューから [サスペンド] を選ぶ方法

あらかじめ [パワーマネージメント] の [パワーマネージメント] タブで [詳細] ボタンをクリックし、[[スタート]メニューの [サスペンド] コマンドの表示] にチェックをつけてください。

- 1** HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
CDやフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。
- 2** [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [サスペンド(N)] を選択し、クリックする  
[スタート]メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)

- 3** 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

### 3 Windows 2000 の電源の切り方

#### ● [スタート]メニューから [シャットダウン] を選ぶ方法

- 1 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [シャットダウン (U)] を選択し、クリックする



- 3 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



- 4 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## ● [スタート]メニューから [スタンバイ] を選ぶ方法

この方法で電源を切ると、スタンバイ機能を実行することができます。

- 1 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [シャットダウン(U)] を選択し、クリックする



- 3 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする





メモ

・[スタンバイ] を選択した場合、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[休止状態] タブの [休止状態をサポートする] がチェックされていてもスタンバイ機能が実行されません。



## ● [スタート]メニューから [休止状態] を選ぶ方法

この方法で電源を切ると、ハイバネーション機能を実行することができます。  
あらかじめ [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、ハイバネーション機能を有効にしておきます。

- 1 HDD  LED、Selectable-Bay  LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [シャットダウン (U)] を選択し、クリックする



- 3 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



## 4 Windows NT の電源の切り方

Windows NTでは、次の2つの方法で電源を切ることができます。



**注意** ・いずれの場合も、東芝パワーマネジメントシステムが正しくインストールされている必要があります。なお、本製品をお買い求めいただいた初期インストール環境では、インストール済みです。  
なお、この方法は、「Windows NT4.0 Service Pack 6」のみ動作を保証します。



⇒ 東芝パワーマネジメントシステムの再インストールについて

⇒ アプリケーション CD 内の『WinNT4¥Softwares¥Tapm¥readme.rtf』

2章

電源を入れて切るまで

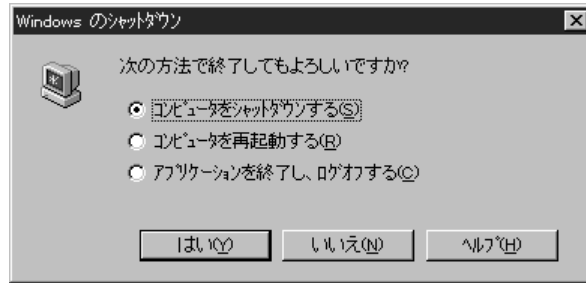
### ● [スタート]メニューから [シャットダウン] を選ぶ方法

- 1 HDD  LED、Selectable-Bay  LED、フロッピーディスク装置のLEDが消えていることを確認する  
フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [シャットダウン (U)] を選択し、クリックする



(表示例)

- 3** [ Windows のシャットダウン ] ダイアログボックスで [ コンピュータをシャットダウンする ( S ) ] が選択されていることを確認し、 [ はい ( Y ) ] をクリックする



- 4** 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## 電源スイッチを押す方法

シャットダウンの処理が終了後、自動的に電源を切ることができます。



**注意** ・この方法で電源を切るには、東芝パワーマネージメントシステムの「自動シャットダウン」のチェックボックスがチェックされている必要があります。

- 1** 本装置の電源スイッチを押す
- 2** 本装置に接続している周辺機器の電源を切る

# 4 オンラインマニュアルの起動

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがインストールされています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使い方などは、オンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルの起動方法は、次のとおりです。

画面は Windows 98 で説明しています。

## 1 パソコン本体の電源を入れる

☞ 「本章 1 電源を入れる」

Windows 画面が表示されます。

## 2 [スタート] ボタンをクリックし、[オンラインマニュアル] をクリックする

オンラインマニュアルが起動します。

表示の内容はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なります。



(表示例)



・デスクトップ上にある [ オンラインマニュアル ] アイコンをダブルクリックしても、オンラインマニュアルを起動することができます。